S&J

インシデント0に、本気。

自社に最適な SOC運用体制の選び方

内製・外部委託・ハイブリッドを比較してわかること



01 内製
自社で挑む

02 外部委託
プロに任せる

03 ハイブリッド
組み合わせて共に強くなる

Special Future こんな方におすすめ

一体、何から!?	SOCの導入を検討しているが、何から検討すればよいか分からない
悩みは属人化!?	現在は内製運用しているが、担当者負荷や属人化に課題を感じている
判断ができない!	SOCの外部委託を検討しているが、判断基準が分からない
優先はなに!?	SOCベンダーの比較や、自社に適したSOC運用体制を整理したい

Copyright S&J Corporation.

はじめに



サイバー攻撃の高度化に伴い、多くの企業でSOC（Security Operations Center）の必要性が高まっています。

一方で、SOCは製品やサービスを導入するだけで実現できるものではありません。

実際には、アラート分析、脅威調査、インシデント対応、継続的な運用品質向上など、多くの業務を支える人材・スキル・運用体制が必要となります。

本資料では、SOC運用に必要な体制やスキルを整理するとともに、内製・外部委託・ハイブリッド（※）、それぞれの特徴や判断ポイントについて解説します。

自社の現状と必要要件のギャップを理解し、自社に適した運用モデルを検討するための参考としてご活用ください。

※ハイブリッドとは、自社で担う業務と外部へ委託する業務を組み合わせた運用モデルです。
　役割分担は企業の体制や運用要件に応じて異なります。

© 2026 S&J Corporation. All Rights Reserved.
本資料の全部または一部について、S＆J 株式会社の事前承諾なく複製、転載、改変、配布
その他の利用を行うことを禁止します。

＜掲載内容について＞
本資料は、2026 年 9 月時点の自社調査情報に基づいて作成しています。
記載内容は予告なく変更される場合があります。※表紙画像は生成 AI を活用して制作しています。

目次

1. SOC とは何か 3P

2. SOC 運用の実態 4P

3. SOC 内製化で直面しやすい課題 5P

4. SOC 運用に必要な体制とスキル 6P

5. SOC 運用に必要な要件と自社体制の比較 7P

6. SOC 運用の内製と外部委託の違い 8P

7. 内製・外部委託・ハイブリッドのメリット／デメリット 9P

8. 自社に適した運用体制の判断 10P

9. 運用体制の判断フローチャート 11P

10. 委託する場合の選定ポイント 12P

11. まとめ 13P

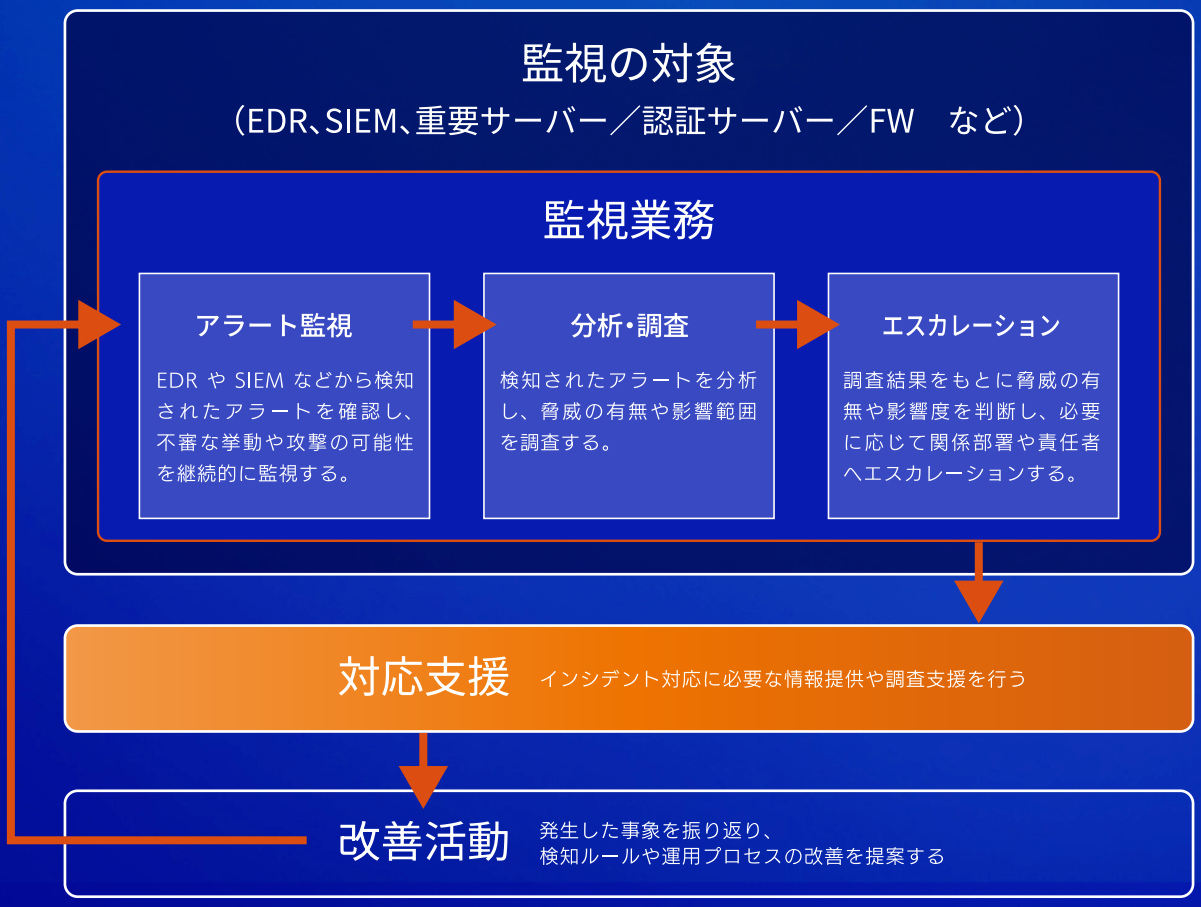
Copyright S&J Corporation.

SOCは「監視」だけを行う組織ではない

SOC（Security Operations Center）は、組織内のセキュリティログやアラートを継続的に監視・分析し、サイバー攻撃の早期発見と対応を支援する運用組織です。

一般的には「監視」を行う組織というイメージがありますが、実際にはアラート分析や脅威調査、関係者への通知、改善提案など幅広い業務を担います。
そのため、SOC運用を検討する際は「誰が監視を行うか」だけではなく、「誰が分析し、どのように対応につなげるのか」まで含めて考える必要があります。

SOCは単なる監視部門ではなく、インシデント対応を円滑に進めるための情報収集・分析を担う運用組織です。
そのため、SOC導入を検討する際は、製品選定だけではなく運用体制まで含めて考えることが重要です。



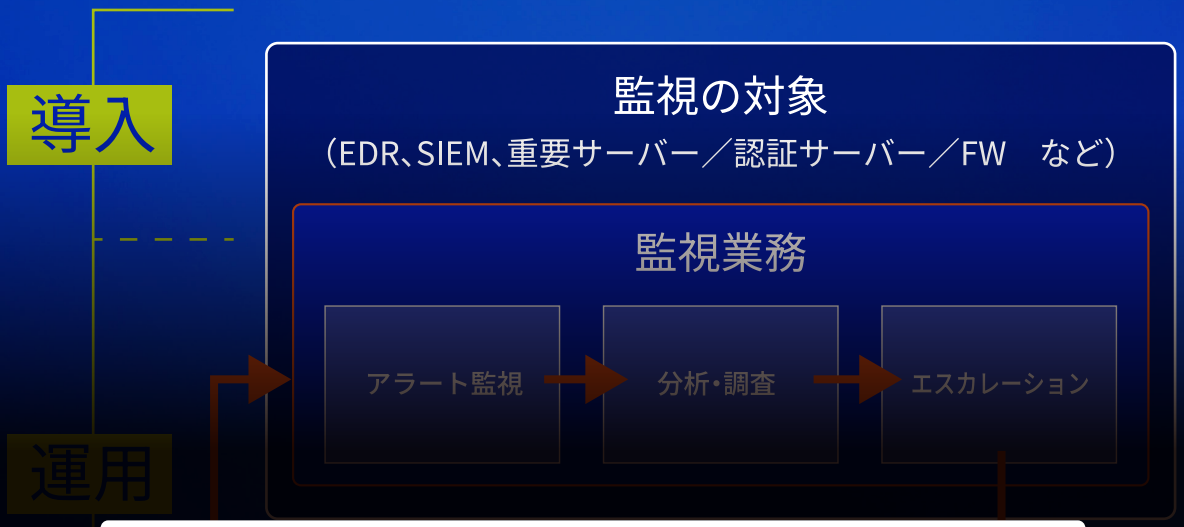
Copyright S&J Corporation.

SOCは「導入」よりも「運用」が重要

近年、多くの企業がEDRやSIEMなどのセキュリティ製品を導入し、SOC運用の検討を進めています。しかし、SOCの導入そのものがゴールではありません。
重要なのは、その後の運用を継続できる体制を構築することです。

SOCでは日々発生する大量のアラートを分析し、影響の有無を判断しながら、必要に応じて調査や対応を行います。どれほど高機能な製品を導入しても、それを運用する人材や体制が不足していれば、本来期待する効果を得ることはできません。
SOCを成功させるためには、「どの製品を導入するか」だけではなく、「誰が、どのように運用するか」という視点が欠かせません。

では、その運用には実際にどのような業務が発生し、どれほどの負荷がかかるのでしょうか。次に、SOC運用で実際に発生する業務や運用負荷について見ていきます。



本編は以下のお役立ち資料ページから
ダウンロードいただけます。

https://www.sandj.co.jp/download/

Copyright S&J Corporation.